

ごあいさつ

広島市心身障害者福祉センターは、昭和 58(1983)年 11 月に、障害者の健康増進、余暇活動の充実及び社会参加の拡大を推進する基幹施設として開館しました。

それまで広島市は、昭和 49 年に全国に先駆けて、障害児の早期発見・早期治療・訓練を一貫して行う心身障害児福祉センターを開設するほか、「身体障害者福祉モデル都市」事業等を推進し、障害者福祉の向上を図ってきましたが、当心身障害者福祉センターの設置により、ノーマライゼーションの理念のもと、障害者の社会参加の推進に大きな一歩を踏み出しました。

以来、機能回復訓練や医療等各種相談に加えて、スポーツ・文化に関する様々な教室の開催や行事の開催により体験や活動の場の提供に努めてきました。また、開設当初から利用者による同好会の育成や支援に取り組んだ結果、センターを活動の場とする様々な同好会が活動しており、さらにセンターを巣立って発展した同好会もありました。

加えて、センターの活動を支えるボランティアの育成・拡充にも力を入れており、センターボランティアの育成や活動の場の提供なども行ってきました。

平成 5(1993)年 5 月には、生活介護事業を行うデイサービスを増設し、創作活動、介護・入浴サービスを提供するなど、より多様なサービスを提供する施設となりました。

近年は、三障害のなかでもとりわけ身体障害者に顕著な高齢化や障害の重度化の問題、さらに生活様式が多様化も進むなど、時代とともに変化する利用者ニーズにも対応したサービスも求められています。

今後も、こうした時代の変化に対応しつつ、障害者の方々が社会の中でより健康的で豊かな生活が送れるよう、センターの使命を果たしていきたいと考えています。

広島市心身障害者福祉センター

所 長 中 川 利 國